



学校だより 8・9月

令和2年8月17日 横浜市立芹が谷南小学校



社会に目を向けて ～専門的な視点から学ぶ～

学校長 高木 篤子

情報を得る手段が多様化して利便性が増している社会の中で、そのよさとともに危惧される問題についても報じられています。子どもたちがどのようにとらえ、社会に目を向けていくことが望まれるのでしょうか。

7月7日（火）、4～6年生を対象に「スマホ・携帯安全教室」を行いました。講師を港南警察署スクールサポーター 有川清美様にご依頼し、個人情報漏洩などに伴う危険についてお話いただき、児童は次のような感想をもちました。

- ・インターネットを使っていて、自分にも、友達にも起こるかもしれない。何か起きたら親に見せるなど、大人のを借りてでも巻き込まれたくないと思いました。
- ・SNS 上にあげたら、ずっと残ってしまっていて、とても怖いということが心に残りました。何も判断しないでネットに投稿などしたら、自分に返ってくるのが分かりました。
- ・やはり、ゲームにのめりこみすぎるのは、よくないということがよく分かりました。
- ・やっぱり、スマホや携帯なども自分の判断力が必要だから、少し怖いと同時に気を付けなければならないと思いました。
- ・責任力・判断力・自制力が大切だということがいちばん印象に残りました。

7月20日（月）、6年生の保健で「薬物乱用防止」について学習しました。学校薬剤師 堀 穰様に横浜型プログラムによる授業を行っていただき、薬物乱用の危険を薬学的視点からもご説明いただき、児童は次のように考えました。

- ・自分で判断し、その行いが正しいか確認することでこのように命にかかわることはなくなると思います。一つ一つ確認しなければ、自分の身は守れないのではないかと思います。
- ・薬物の乱用は、一度やってしまえばやめたくてもやめられなくなってしまうということがあったり、巻き込まれてしまうこともあったりすることが分かりました。
- ・自分にも周りの人にも害がないように、誘われたらきっちり断りたいです。
- ・自分が誘われたらちゃんと断るようにしたい。もし乱用している知り合いがいたら、止められるようにします。
- ・薬物を乱用しないために、自分は注意深く行動しようと思います。

高学年になるに従い社会的な課題に目を向けて、自分自身はどのようなことに気を付けるべきなのか考える機会が必要であると思います。専門的な視点を生かした学びの機会を得て、それぞれの正しい判断につながることを願っています。